

編 章	節 条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 港湾編	4 一般施工	3 共通の工種	6 圧密・排水工	サンドドレーン	位 置	別途
					天 端 高	+規定しない -0
					先 端 深 度	+0 -規定しない
					砂 の 投 入 量	
					延 長	+規定しない -0
					天 端 高	±300
					天 端 幅	別途
					法 面 勾 配	別途
				敷砂均し	延 長	+規定しない -0
					天 端 高	±500
					天 端 幅	別途
					法 面 勾 配	別途
				載荷上砂	延 長	+規定しない -0
					天 端 高	±500
					天 端 幅	別途
					法 面 勾 配	別途
ペーパードレーン	位 置	別途				
	天 端 高	+規定しない -0				
	先 端 深 度	+0 -規定しない				
	ドレーン材の打込長					

測定基準	測定箇所	摘要
転船毎及び監督員の指示による。		自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されれば不要
全数		打込記録の確認
全数 + ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。		打込記録の確認
全数 施工完了後		打込記録の確認
(陸上部) 測定間隔 20 m 以下 (#) 側点間隔 10 m 以下 (水中部) 測定間隔 20 m 以下 (#) 側点間隔 20 m 以下 施工完了後		
測線間隔 20 m 以下 測点間隔 10 m 以下		
転船毎及び監督員の指示による。		自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されれば不要
全数 + ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。		
全数		
全数		

編	章	節	条 枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 港湾編	4 一般施工	3 共通の工種	6 圧密・排水工	グラベルマット	延 長	+規定しない -0	
					天 端 高	±300	
					天 端 幅	別途	
					法 面 勾 配	別途	
				グラベルドレーン	位 置	別途	
					天 端 高	+規定しない -0	
					先 端 深 度	+0 -規定しない	
				7 締固工	ロッドコンパクション	天 端 高	+規定しない -0
						先 端 深 度	+0 -規定しない
		サンドコンパクション	位 置		別途		
			天 端 高		+規定しない -0		
			先 端 深 度		+0 -規定しない		
			砂 の 投 入 量				
盛上土砂撤去	撤 去 量						

測定基準	測定箇所	摘要
施工完了後		
(陸上部) 測線間隔20m以下 (〃) 側点間隔10m以下 (水中部) 測線間隔20m以下 (〃) 側点間隔20m以下		
転船毎及び監督員の指示による。 全数 + ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。		自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されれば不要
全数		
全数		打込記録の確認
全数 + ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。		打込記録の確認
転船毎及び監督員の指示による。		自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されれば不要
砂杭全数		打込記録の確認
砂杭全数 + ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。		打込記録の確認
砂杭全数 完了後		打込記録の確認

編 号	章	節	条 枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 港 湾 編	4 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8 固 化 工	深層混合処理杭	位 置	
					鉛 直 度 接 合	別 途
					天 端 高	+規定しない -0
					先 端 深 度	+0 -規定しない
					盛 上 り 量	
					事前混合処理	
				延 長	+規定しない -0	
				天 端 高	別 途	
				天 端 幅		
				表面固化処理		
				延 長	+規定しない -0	
				天 端 高	別 途	
				天 端 幅		
				厚 さ		

測定基準	測定箇所	摘要
海上施工は改良杭全数 陸上施工は別途考慮		自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されれば不要
改良杭全数 深度方向に2～5m程度毎に測定 (引抜きと貫入時)		
改良杭全数 + ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。		
改良前、改良後		
施工完了後		
(陸上部) 測定間隔20m以下 (〃) 測点間隔10m以下 (水中部) 測定間隔20m以下 (〃) 測点間隔20m以下		
施工完了後		
測定間隔20m以下 側点間隔10m以下		

編	章	節	冬	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 港湾編	4 一般施工	3 共通の工種	9		洗掘防止	敷 設 位 置	別途
						重 ね 幅	500以上(アスファルトマット、繊維系マット、ゴムマット)300以上(合成樹脂系マット)
						延 長	+規定しない -100
						天 端 高	陸上±50 水中±100
						天 端 高	陸上±30 水中±50
						天 端 高	陸上±30 水中±50
						幅	+20、-10
						高 さ	+20、-10
						長 さ	+20、-10
						壁 厚	±10
						対 角 線	
							蓋ブロック据付

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
始、終端及び変化する箇所並びに 20mに1箇所以上		
1枚に2点		
1室につき1箇所（中心）		
1室につき1箇所（中心）		
1室につき1箇所（中心）		
型枠取外し後全数		
型枠取外し後全数		
1室につき1箇所		

編	章	節	条 枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 港 湾 編	4 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	13 鋼 矢 板 工	先行掘削	位 置	別途
					掘 削 長	別途
					掘 削 深 度	別途
				鋼矢板	掘 削 径	別途
					打 込 記 録	
					矢 板 壁 延 長	+ 矢板1枚幅 - 0
					矢 板 法 線 に 対 する 出 入	±100
					矢 板 法 線 に 対 する 傾 斜	10/1000以下
					矢板法線方向の傾斜	上下の差が矢板1枚幅未満 10/1000以下
					矢 板 天 端 高	±100
					矢板継手部の離脱	
					鋼管矢板	打 込 記 録
				矢 板 壁 延 長		別途
				矢板法線に対する出入		±100
				矢板法線に対する傾斜		10/1000以下
矢 板 法 線 方 向 の 傾 斜	上下の差が矢板1枚幅未満 10/1000以下					
矢 板 天 端 高	±100					
矢板継手部の離脱						

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数		
全数		
全数		
全数（水中の場合は適宜）		
40枚に1枚 施工中適宜 打込完了時 打込完了時、20枚に1枚及び計画法 線の変化点		
打込完了時、20枚に1枚及び計画法 線の変化点		
施工中適宜 打込完了時（両端部） 打込完了時、20枚に1枚		
全数		
20本に1本 施工中適宜 打込完了時		
打込完了時、10本に1本及び計画法 線の変化点		
打込完了時、全数確認後10本に1本 及び変化点		
施工中適宜 打込完了時（両端部） 打込完了時、10本に1本		
全数		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 港湾編	4 一般施工	3 共通の工種	14 控工		控鋼矢板	打 込 記 録	
						矢 板 壁 延 長	+矢板1枚幅 -0
						矢 板 法 線 に 入 出	±100
						矢 板 法 線 に 傾 斜	10/1000以下
						矢 板 法 線 方 向 傾 斜	上下の差が矢板1枚幅未満 10/1000以下
						矢 板 天 端 高	±100
						矢板継手部の離脱	
					控鋼杭	打 込 記 録	
						杭 頭 中 心 位 置	100以下
						杭 天 端 高	±50
						杭 の 傾 斜	直杭2° 以下 斜杭3° 以下
					プレキャストコンクリート控壁	幅	+20、-10
						高 さ	+20、-10
						長 さ	+20、-10
						壁 厚	±10
						法線に対する出入	±50
						隣接ブロックとの間隔	別途
						延 長	
						天 端 高	

測定基準	測定箇所	摘要
40枚に1枚		
施工中適宜		
打込完了時		
打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点		
打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点		
施工中適宜		
打込完了時（両端部）		
打込完了時、20枚に1枚		
全数		
20本に1本		
打込完了時、全数		
打込完了時、全数		
打込完了時、全数		
型枠取外後全数		
据付後ブロック1個につき2箇所（最下段、最上段）		
据付後ブロック1個につき2箇所（最下段、最上段）		
据付完了後、法線上（最上段のみ）		
据付後ブロック1個につき2箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 港 湾 編	4 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	14 控 工		場所打コンクリート控壁	天端高又は厚さ	±20	
						天 端 幅	±20	
						延 長	+規定しない -0	
						法線に対する出入	±30	
						取 付 高 さ	ねじ山が3つ山 以上突き出て いること	
						継 手 位 置		
						ボルトの取付け		
						矢板と腹起し との密着		
						タイロッド取付	取 付 け 高 さ 及 び 水 平 度	
						定 着 ナ ッ ト の 締 付 け		
						ターンバックルの ねじ込み長さ	定着ナットの 高さ以上	
						リングジョイントのコン クリートへの埋込み		
						支保材の天端高		
						タイワイヤー取付	取 付 高 さ	
矢板法線に対す る取付角度及び 取 付 間 隔								
定 着 ナ ッ ト の 締 付 け	ねじ山が3つ山 以上突き出て いること							
定着具端部栓の 取 付 け								
トランペットシースの 取 付 け								

測定基準	測定箇所	摘要
1スパン3箇所		
1スパン3箇所		
法線上		
1スパン2箇所		
取付完了時、両端（継手毎）全数		
取付完了時、全数		
取付完了時、全数		
タイロッド毎、全数		
締付後両端、全数		
全数		
全数		
全数		
適宜		
締付後両端、全数		
締付後両端、全数		
全数		
全数		
全数		
全数		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 港 湾 編	4 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	15	鋼 杭 工	鋼杭	打 込 記 録	
						杭 頭 中 心 位 置	100以下
						杭 天 端 高	±50
			16	コ ン ク リ ー ト 杭 工	コンクリート杭	杭 の 傾 斜	直杭2° 以下 斜杭3° 以下
						打 込 記 録	
						杭 頭 中 心 位 置	100以下
			17	防 食 工	電気防食	杭 の 傾 斜	直杭2° 以下 斜杭3° 以下
取 付 位 置							
					電 位 測 定	飽和かんこう 電極基準； -770mV 海水塩化銀基 準； -780mV 又は飽和硫酸 銅電極基準； -850mV	
				FRPモルタルライニング	取 付 高 さ		
				ペトロラタムライニング コンクリート被覆 防食塗装	高 さ		

測定基準	測定箇所	摘要
支持杭は全数、支持杭以外は20本に1本 打込完了時、全数		
打込完了時、全数		
打込完了時、全数		
支持杭は全数、支持杭以外は20本に1本 打込完了時、全数		
打込完了時、全数		
打込完了時、全数		
取付完了後、全数		
取付完了後、測定端子取付箇所毎		
取付完了後、上端高さ 鋼管杭；全数 矢板；1打設3箇所以上		
取付完了後、上端・下端高さ 鋼管杭；全数 矢板；1打設3箇所以上		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 港湾編	4 一般施工	5 海上地盤改良工	2 床掘工		ポンプ床掘	水深（底面）	±300
					グラブ床掘	＃（法面）	外側2000（法面に直角） 内側300（法面に直角）または特記
			6 置換工		置換材均し	延長	+規定しない -0
						天端高	±500
		6 基礎工	2 基礎盛砂工		盛砂均し	延長	+規定しない -0
						天端高	±300
						法面勾配	
						天端高	別途
			4 基礎捨石工		基礎捨石	法面	別途
						天端幅	別途
						延長	別途
						天端高	±50
				捨石木均し	天端幅	+規定しない -100	
					延長	+規定しない -100	

測定基準	測定箇所	摘要
測線間隔は特記による		
測線間隔は特記による		
施工完了後		
(陸上部) 測線間隔 20m 以下		
(") 測点間隔 10m 以下		
(水中部) 測線間隔 20m 以下		
(") 測点間隔 20m 以下		
施工完了後		
測線間隔20m以下		
測点間隔20m以下		
測線及び測点間隔は10m以下		
測線間隔は10m以下測点3点以上、 但し、マウンド厚2m以下の場合は 2点以上		
測線間隔は10m以下		
法線上		
測線及び測点間隔は10m以下		
測線間隔は10m以下		
法線上		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 港湾編	4 一般施工	6 基礎工	4 基礎捨石工		捨石荒均し	天 端 高	±500、岸壁前面+0、-200又は別途考慮 異形ブロック据付面（整積）の高さ（法面に直角）±300又は別途考慮	
						法 面	±500（法面に直角） 異形ブロック据付面（整積）の高さ（法面に直角）±300又は別途考慮	
						天 端 幅	+規定しない -100	
						延 長	+規定しない -100	
			6 基礎ブロック工		基礎ブロック製作	幅	+20、-10	
						高 さ	+20、-10	
						長 さ	+20、-10	
						壁 厚	±10	
						対 角 線		
						型枠形状寸法（異形ブロック）		
						ブロック外観（異形ブロック）		
						基礎ブロック据付	法線に対する出 入	±50
							隣接ブロックとの間隔	ブロック（方塊） 3cm以下
							延 長	
							天 端 高	

測定基準	測定箇所	摘要
測線及び測点間隔は10m以下		
測線間隔は10m以下測点3点以上、 但し、マウント厚2m以下の場合は 2点以上		係留施設・護岸・土留壁等の背面については、荒均しを適用しない
測線間隔は10m以下		
法線上		
型枠取外し後全数		
型枠取外し後全数 型枠搬入後適宜		
全数 据付後ブロック1個につき2箇所 (最下段、最上段) 据付後ブロック1個につき2箇所 (最下段、最上段)		
据付完了後、法線上(最上段のみ)		
据付後ブロック1個につき2箇所(最上段のみ)		

編	章	節	条 枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 港 湾 編	4 一 般 施 工	7 本 体 工 (ケー ソン 式)	2 ケー ソン 製 作 工	ケーソン製作	摩擦増大用マット敷設位置	
					高 さい	+30、-10
					幅	+30、-10
					長 さい	+30、-10
					壁 厚	±10
			底版厚さい	+30、-10		
			フーチング高さ	+30、-10		
			対角線	±50		
			バラスト	砕石・砂±100 コンクリート ±50		
			法線に対する出入	防波堤ケーソク質量 2,000t未満±200 2,000t以上±300 岸壁ケーソク質量 2,000t未満±100 2,000t以上±150		
据付目地間隔	防波堤ケーソク質量 2,000t未満 200以下 2,000t以上 300以下 岸壁ケーソク質量 2,000t未満 100以下 2,000t以上 200以下					
天端高さ						
延長						
			3 ケー ソン 進 水 据 付 工	ケーソン進水据付		

測定基準	測定箇所	摘要
始・終端及び変化する箇所毎		
完成時、四隅		
各層完成時に中央部及び底版と天端は両端		
各層完成時に中央部及び底版と天端は両端		
各層完成時、各壁1箇所		
底版完成時、各室中央部1箇所		
底版完成時、四隅		
底版完成時及び完成時		
各室中央部1箇所		
据付完成後、両端2箇所		
据付完成後、天端2箇所		
据付完了後、四隅		
中詰完了時、四隅		
据付完了後、法線上		

編	章	節	条	枝番	工	種	測 定 項 目	規 格 値								
7 港 湾 編	4 ・ 般 施 工	8 本 体 工 (ブ ロ ッ ク 式)	2 本 体 ブ ロ ッ ク 製 作 工	本体ブロック製作			幅	+20、-10								
							高	さ	+20、-10							
							長	さ	+20、-10							
							壁	厚	±10							
							対	角	線							
							型	枠	形	状	寸	法	(異 形 ブ ロ ッ ク)			
		フ	・	ブ	ロ	ッ	ク	外	観	(異 形 ブ ロ ッ ク)						
		3 本 体 ブ ロ ッ ク 据 付 工	本体ブロック据付			法	線	に	対	す	る	出	入	±50		
						隣	接	ブ	ロ	ッ	ク	と	の	間	隔	L型ブロック セルブロック 50以下 直立消波ブロック ブロック(方塊) 30以下
						延	長									
						天	端	高								
		9 本 体 工 (場 所 打 式)	2 場 所 打 コ ン ク リ ー ト 工	場所打コンクリート工 (防波堤)			天	端	高	又	は	厚	さ	天端幅10m以下の場合は±20 天端幅10mを超える場合は +50、-30		
							天	端	幅	天端幅10m以下の場合は±30 天端幅10mを超える場合は +50、-30						
							延	長	+規定しない -0							
							法	線	に	対	す	る	出	入	±50又は別途	

測定基準	測定箇所	摘要
型枠取外し後、全数		L型フック セルラーフック フック (方塊)
型枠取外し後、全数		セルラーフック フック (方塊)
型枠搬入後適宜		
全数		
据付後ブロック1個につき2箇所 (最下段、最上段)		
据付後ブロック1個につき2箇所 (最下段、最上段)		
据付完了後、法線上 (最上段のみ)		
据付後ブロック1個につき2箇所 (最上段のみ)		
天端面は1スパン4箇所以上 パラペット頂部は1スパン2箇所以上		
1スパン3箇所		
法線上		
1スパン2箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
7 港湾編	4 一般施工	9 本 体 工 (場 所 打 式)	2 場 所 打 コ ン ク リ ー ト 工		場所打コンクリート工 (岸壁)	天端高又は厚さ	±20		
						天 端 幅	±20		
						延 長	+規定しない -0		
						法線に対する出入	±30		
						防舷材ベッド			
		10 本 体 工 (捨 石 ・ 捨 ブ ロ ッ ク 式)	4 捨 ブ ロ ッ ク 工				捨ブロック製作	幅	+20、-10
								高 さ	+20、-10
								長 さ	+20、-10
								壁 厚	±10
								対 角 線	
	型枠形状寸法 (異形ブロック)								
	ブロック外観 (異形ブロック)								
	捨ブロック据付							法線に対する 出 入	±50
								隣接ブロック と の 間 隔	ブロック(方塊) 30以下
								延 長	
		天 端 高							
		5 場 所 打 コ ン ク リ ー ト 工				場所打コンクリート工	天 端 高	天端幅10m以下 の場合は±20 天端幅10mを超 える場合は+ 50、-30	
							天 端 幅	天端幅10m以下 の場合は±30 天端幅10mを超 える場合は+ 50、-30	
							延 長	+規定しない -0	
							法線に対する出入	±50又は別途	

測定基準	測定箇所	摘要
1スパン3箇所		
1スパン3箇所 法線上		
1スパン2箇所 スパン毎		
型枠取外し後10個に1個以上測定		
型枠取外し後全数10個に1個以上測定		
型枠搬入後適宜		
全数		
据付後ブロック1個につき2箇所 (最下段、最上段)		
据付後ブロック1個につき2箇所 (最下段、最上段)		
据付完了後、法線上(最上段のみ)		
据付後ブロック1個につき2箇所(最上段のみ)		
天端面は1スパン4箇所以上 パラペット頂部は1スパン2箇所以上		
1スパン3箇所		
法線上		
1スパン2箇所		

編	章	節	条 枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 港湾編	4 一般施工	12 本体工（コンクリート矢板式）	2 コンクリート矢板工	コンクリート矢板	矢板壁延長	+矢板1枚幅 -0
					矢板法線に 対する出入	別途
					矢板法線に 対する傾斜	別途
					矢板法線方 向の傾斜	上下の差が矢 板1枚幅未満 2/100以下
					矢板天端高	±50
					矢板継手部の離脱	
		15 被覆・根固工	2 被覆石工	被覆石(均しを行わない面) 被覆石均し	天 端 面	
					天 端 面	±500 岸壁前面 +0、200又は 別途考慮
					法 面	±500（法面に 直角）異形フ ロック据付面（整 積）の高さ （法面に直 角）±300又は 別途考慮
					天 端 幅	+規定しない -200
					延 長	+規定しない -200

測定基準	測定箇所	摘要
施工中適宜 打込完了時 打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点		
打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点		
施工中適宜 打込完了時（両端部） 打込完了時、20枚に1枚		
全数 測線及び測点間隔は10m以下 測線及び測点間隔は10m以下		
測線間隔は10m以下、測点3点以上 但し、マウンド厚2m以下の場合は2点以上 測線間隔は10m以下		
天端中心上		

編	章 節	条 枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
7 港湾編	4 一般施工	15 被覆・根固工	4 被覆ブロック工	被覆ブロック製作	型枠計上寸法 (異形ブロック)		
					ブロック外観 (異形ブロック)		
			被覆ブロック据付	延 長			
	16 上部工	5 根固ブロック工 2 上部コンクリート工	4 根固ブロック製作		幅	+20、-10	
					高さ	+20、-10	
					長さ	+20、-10	
					壁 厚	±10	
			5 上部コンクリート工 (防波堤)		対 角 線		
					天端高又は厚さ	天端幅10m以下の場合は±20 天端幅10mを超える場合は +50、-20	
					天 端 幅	天端幅10m以下の場合は±30 天端幅10mを超える場合は +50、-30	
			6 上部コンクリート工 (岸壁) (栈橋)		延 長	+規定しない -0	
					法線に対する出入 天端高又は厚さ	±50又は特記 ±20	
					天 端 幅	±20	
					延 長	+規定しない -0	
					法線に対する出入	±30	
					防 舷 材 ベ ッ ド		

測定基準	測定箇所	摘要
型枠搬入後適宜		
全数		
据付完了後、法線上（最上段のみ）		
10個に1個以上測定		
10個に1個以上測定		
天端面は1スパン4箇所以上 パラペット頂部は1スパン2箇所以上		注) 本体がケーソンの場合ケーソンの質量 2,000 t 未満 ±200
1スパン3箇所		2,000 t 以上 ±300
法線上		
1スパン2箇所		
1スパン3箇所		
1スパン3箇所		
法線上		
1スパン2箇所		
スパン毎		

編	章	節	条 枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 港 湾 編	4 一 般 施 工	16 上 部 工	3 上 部 ブ ロ ッ ク 工	上部ブロック製作	幅	+20、-10
					高 さ	+20、-10
					長 さ	+20、-10
					壁 厚	±10
				上部ブロック据付 (防波堤) (岸壁) (栈橋上部コンクリート)	上部コンクリート工を適用	
			17 付 属 工	2 係 船 柱 工	係船柱	天 端 高
	岸 壁 前 面 に 対 する 出 入					
	中 心 間 隔					
	直 柱 基 礎 コンクリート (幅)					
	-#- (長さ)					
	-#- (高さ)					
	3 防 舷 材 工	防舷材		取 付 高 さ		
				中 心 間 隔		
	4 車 止 ・ 縁 金 物 工	車止・縁金物工	天 端 高	±30		
岸 壁 前 面 に 対 する 出 入						
取 付 間 隔						
警 戒 色 (シマ模様)						

測定基準	測定箇所	摘要
型枠取外し後全数		
		上部コンクリート工を適用する。
据付完了時、中心部、全数		
据付完了時、全数		
据付完了時、各スパン毎中心部、各基		
完了時、全数、天端両端		
完了時、全数、前後面		
完了時、全数、中心点		
取付完了時、中心部、全数		
取付完了時、中心部、全数		
取付完了時、中心部、全数		
取付完了後中心部を1点		
上部11スパンに2箇所		
完了時適宜		

編	章	節	条 枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
7 港湾編	4 一般施工	17 付属工	6 付属設備工	係船環	取 付 位 置			
				18 消波工	3 消波ブロック工	消波ブロック製作	型 枠 測 定 寸 法 (異形ブロック) ブ ロ ッ ク 外 観 (異形ブロック)	
						消波ブロック据付	延 長	
	19 裏込・裏埋工	2 裏込工	裏込材 (均しを行わない面)	天 端 高	別 途			
				法 面	別 途			
				天 端 幅	別 途			
				延 長	別 途			
			裏込均し	天 端 高	±200			
				法 面	±200 (法面に直角)			
				天 端 幅	+規定しない -100			
				延 長	+規定しない -100			
				吸出し防止材	敷 設 位 置	別 途		
					重 ね 幅	500以上 (アスファルトマット・繊維系マット) 300以上 (合成樹脂系マット)		
					延 長	+規定しない -100		

測定基準	測定箇所	摘要
取付完了時、中心部、全数		
型枠搬入後適宜		
全数		
据付完了後、法線上（最上段のみ）		
測線及び測点間隔は10m以下		
測点は3点以上		
測線間隔は10m以下		
天端中心上		
測線及び測点間隔は10m以下		
測点は3点以上		
測線間隔は10m以下		
天端中心上		
始、終端及び変化する箇所毎並びに20mに1箇所以上		
1枚に2点		
マットの中心を区間毎及び全長		

編 章 節 条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
7 港 湾 編	4 一 般 施 工	19 裏 込 ・ 裏 埋 工	3 裏 埋 工	裏埋材	地盤高（陸上部）	別途
					地盤高（水中部）	別途
5 港 湾 （ 航 路 ・ 泊 地 ・ 船 だ ま り ）	3 浚 渫 工	2 ポ ン プ 浚 渫 工	ポンプ浚渫	水深（底面）	+0 －規定しない 又は別途	
				”（法面）	+0 －規定しない 又は別途	
		3 グ ラ ブ 浚 渫 工	グラブ浚渫	水深（底面）	+0 －規定しない 又は別途	
				”（法面）	+0 －規定しない 又は別途	
		4 硬 土 盤 浚 渫 工	硬土盤浚渫	水深（底面）	+0 －規定しない 又は別途	
				”（法面）	+0 －規定しない 又は別途	
		5 岩 盤 浚 渫 工	砕岩浚渫	水深（底面）	+0 －規定しない 又は別途	
				”（法面）	+0 －規定しない 又は別途	
		6 バ ッ ク ホ ウ 浚 渫 工	バックホウ浚渫	水深（底面）	+0 －規定しない 又は別途	
				”（法面）	+0 －規定しない 又は別途	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
測線間隔20m以下、測点間隔20m以下		
測線間隔20m以下、測点間隔20m以下		
別途		
測線間隔は別途考慮による		
別途		
測線間隔は別途考慮による		
別途		
測線間隔は別途考慮による		
別途		
測線間隔は別途考慮による		
別途		
測線間隔は別途考慮による		